

しんち

広報

4月1日現在

 1.900世帯
 男 4.145人
 女 4.335人
 合計 8.480人

38号

49 / 5

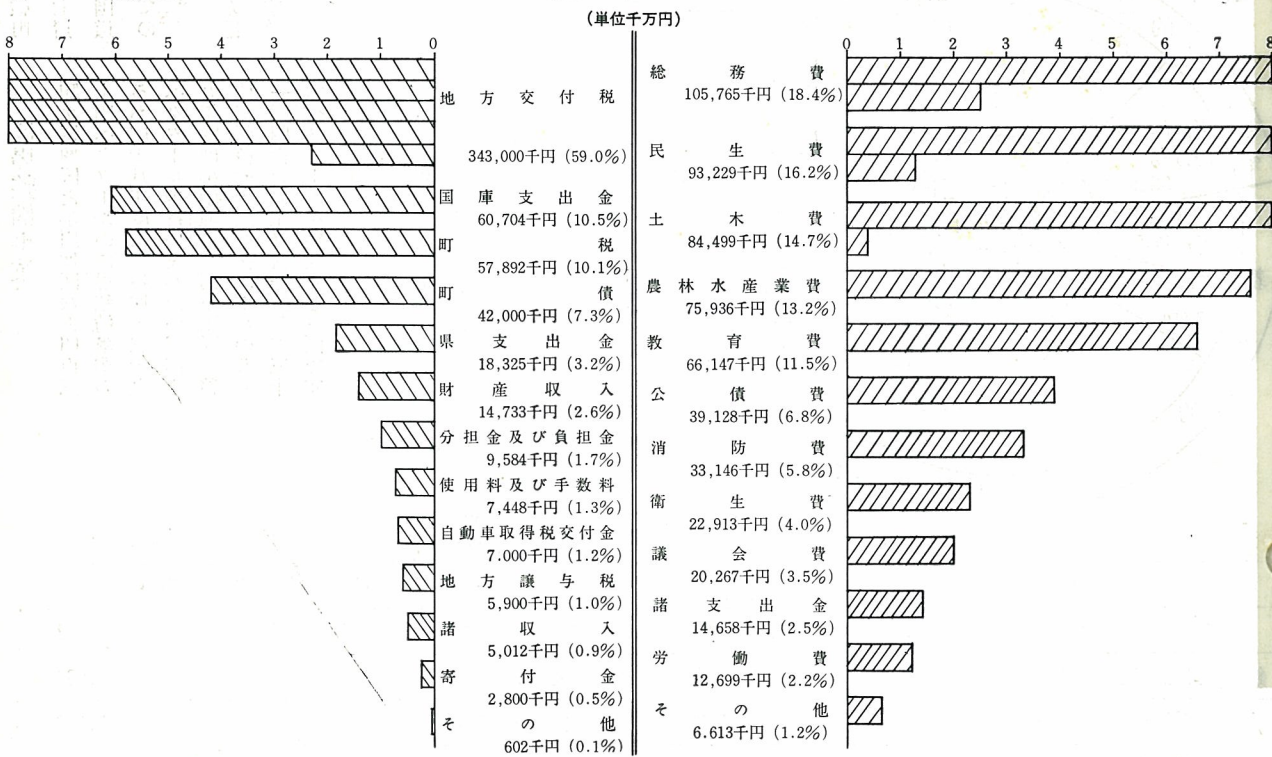
昭和49年度 新地町一般会計予算

昭和四十九年度の新地町一般会計予算が、五億七千五百万円と三月定例議会で議決され、四月一日からスタートしました。

ことしの一般会計当初予算の規模は、前年度当初予算四億九千七百六十万円に比較すると七千七百四十万円の増十
五・五五割の伸びになっていま

ことしの予算の特徴は、国民総抑制政策のなかで町民のみなさんの福祉向上をめざし、生活環境の整備や、本町産業の基盤である農業近代化の促進、道路漁港修築事業などを重点事業とした。

みなさんが健康で、明るく住みよい生活を送るための、町の年間計画書ともいえるべき予算の内容はつぎのとおりです。



予算編成にあたって

私たちの町を明るく住み良い町にするには何といっても私たちの納める税金が基礎です。

ことしの町税は、歳入予算の一〇・〇七割にあたる五千七百八十九万二千円を見こんでいます。

また私たちが直接、間接に納めている国税(所得税、酒税など)を財源に、町でまかなえない分を国で交付してくる地方交付税は、歳入予算の五九・六五割にあたる三億四千三百万円を見こんでいます。

このほか、国庫支出金や町債などが一億七千四百八十八万円となっています。

支出については、福祉費に予算総額の一六・二割の九千三百二十二万八千円を、教育費に一・五割六千六百四十七千円を、農林水産業費に一三・二割七千五百九十三万六千円を計上しており皆さんの生活向上に役立つように意欲的に取組みました。

昭和49年度目的別一般会計内訳

(単位千円)

 議会費 48 15,570 49 20,267 比率 30.2%	 総務費 48 79,850 49 105,765 比率 32.6%	 民生費 48 79,524 49 93,229 比率 17.2%
 衛生費 48 15,677 49 22,913 比率△46.2%	 労働費 48 13,955 49 12,699 比率△ 9.0%	 農林水産業費 48 86,502 49 75,936 比率△12.2%
 商工費 48 2,020 49 4,615 比率 128.5%	 土木費 48 76,708 49 84,499 比率 10.2%	 消防費 48 26,996 49 33,146 比率 22.8%
 教育費 48 48,272 49 66,147 比率 37.0%	 災害復旧費 48 1 49 2 比率 100.0%	 公債費 48 35,190 49 39,128 比率 11.2%
 諸支出金 48 15,548 49 14,658 比率 5.7%	 予備費 48 1,787 49 1,996 比率 11.7%	

町の財政と地方債

産業などの発展により社会の構造が複雑化するに伴ってみなさんの要望が高まり、町の果すべき役割は増加の一途をたどっています。

このような町の活動を経済的な側面から具体的に金額で表現した

ものが予算と呼ばれて、その内容のいかんが皆さんのくらしに密接な関係を持っています。たとえば低家賃の町営住宅が欲しいとか、道路をつくらせて欲しいとかいうさまざまな要望が予算の問題ときつてもきれない関係にあります。

つきに地方債についてですが、

町では皆さんのあらゆる要望にこたえるためにいろいろな事業を計画してありますが自主財源(税収入)だけではまかないきれませんが、入) したがって国、県からの地方債を起こしてその財源にあてることになっています。

地方債とは、町が財政収入の不足を補うため一定の制限のもとに借り入れる資金で予算上は「町債

」として計上されており、その債務を起こすことを一般に起債と呼んでおります。

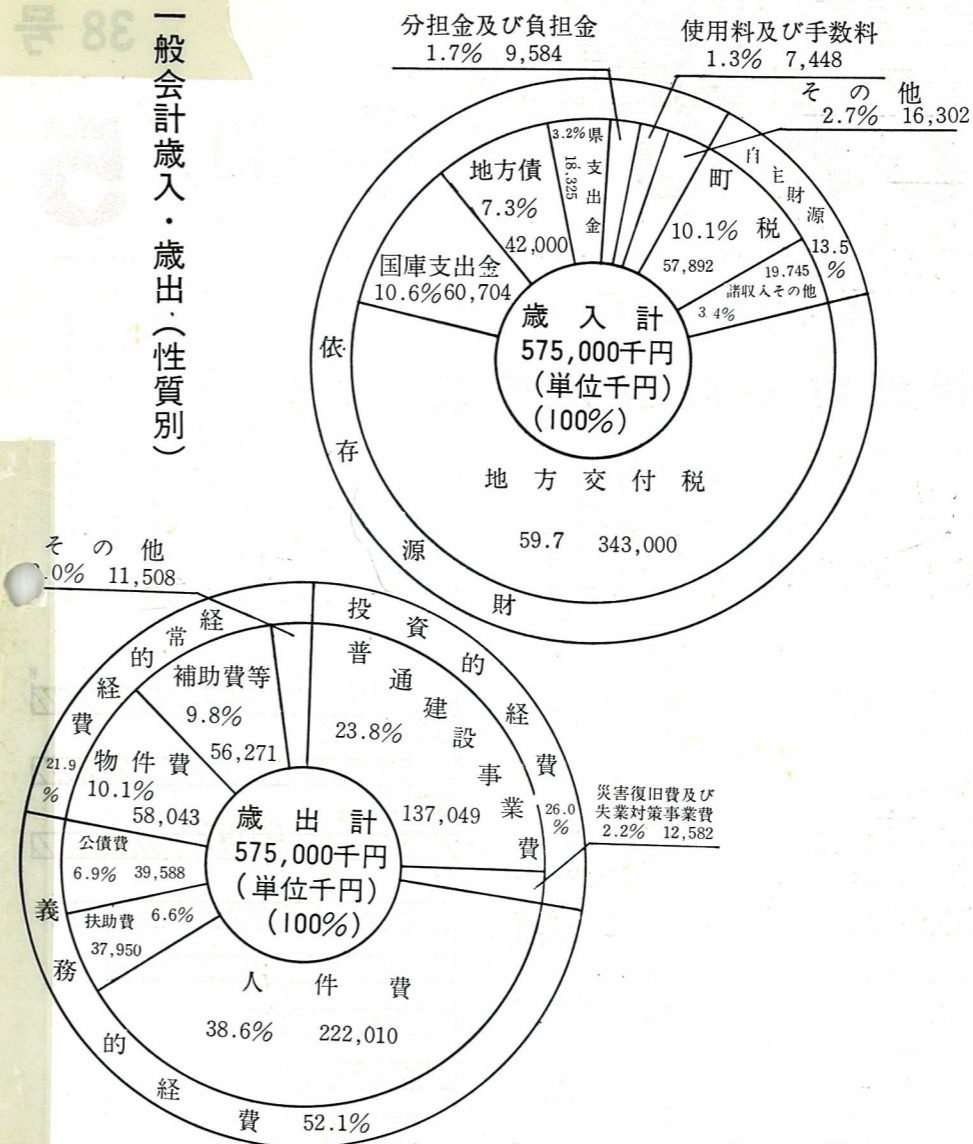
また、地方債の財源はみなさんが納める国民年金とか郵便局の簡易保険積立金が低利で町に融資されている訳です。

たとえば四十八年度の町営住宅建設事業九百三十万円、旧国道舗装事業九百九十万円は郵便局の簡易



保険から、駒ヶ嶺簡易水道事業五百五十万円は国民年金からそれぞれ借入れて建設された主な事業です。

一般会計歳入・歳出(性質別)



今年の仕事

(単位千円)

起債対象事業		一般建設事業	
事業名	事業費	事業名	事業費
釣師浜漁港修築事業負担金	15,940	水路改良事業	1,560
農免道路整備事業負担金	3,040	町営失業対策事業	10,198
開拓道路補修事業負担金	6,212	ほ場整備事業	17,726
広域圏一級道路整備事業	36,030	果樹・蚕業主産地形成事業	1,500
廃道関連町道舗装事業	7,500	公民館改修事業	1,500
辺地道路舗装事業	9,000	生活改善推進事業	2,200
町道舗装事業	2,848	たん水防除受託事業	1,693
県道整備事業負担金	3,250	小学校整備事業	4,270
中学校整備事業	3,000		
消防施設整備事業	1,300		

おもなしごと

あれこれ

町道菅谷今神線改良事業

町道改良事業の一環として昭和四十六年度からはじめている菅谷今神線の改良事業を引き続きおこないます。

この道路は、菅谷から駒ヶ嶺町を通過して藤崎、今神に至る巾七尺の一級町道で、昨年度までに国道六号線から国道一三三号線までの間二千六百尺を完成しました。

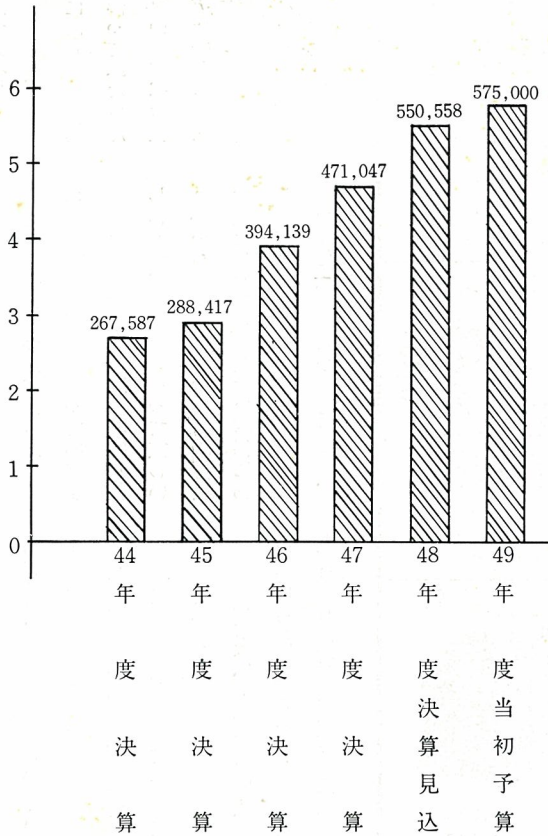
今年度は国道六号線より東の部分千五百尺を完成する予定です。

ほ場整備事業

駒ヶ嶺地区と小川地区など四百三十四ヘクタールのほ場整備事業のうち四十八年度に菅谷地区二十九ヘクタールを行いました。今年度は小川地区(第三工区)整備面積七十二ヘクタールのうち一億四千万の工事費を投じて三十六ヘクタールを整地する計画です。

一般会計

6年間の動き



昭和49年度会計予算額 (単位千円)

会計別	49年度当初 予算額	48年度当初 予算額	増減	増加率 %
一般会計	575,000	497,600	77,400	15.55
新地簡易水道会計	8,433	6,495	1,938	29.84
駒ヶ嶺簡易水道会計	1,342	620	722	116.45
真弓飲料水供給施設 事業会計	304	386	△ 82	△ 21.24
国民健康保険会計	148,585	107,730	40,855	37.92
特別会計 (小計)	158,664	115,231	43,433	37.69
合計	733,664	612,831	120,833	19.72

ことしの町債内訳 (単位千円)

事業名	町債費
農免道路整備事業負担金	2,000
開拓道路整備事業負担金	3,500
釣師浜漁港修築事業負担金	9,000
広域圏一級道路整備事業	10,000
廃道関連町道舗装事業	2,300
辺地道路舗装事業	9,000
県道整備事業負担金	2,000
消防施設整備事業	600
中学校屋上整備事業	1,800
町道舗装事業	1,800
合計	42,000

町税の内訳

1. 町民税	17,998千円
2. 固定資産税	23,616千円
3. 軽自動車税	2,511千円
4. 町たばこ消費税	11,020千円
たばこ町内消費見込数	14,476,000本
5. 電気ガス税	2,64千円
6. 釧産税	1千円
7. 木材取引税	1千円
8. 特別土地保有税	100千円
9. 軽自動車税	
原動機付自転車	761千円
農耕作業用	692千円
軽二輪	45千円
軽四輪	1,040千円
自動二輪	50千円